教員名	松本 聡子 (MATSUMOTO, Satoko)
所 属	文教育学部
学 位	博士 (人間科学)
職名	講師
URL / E-mail	matsumoto.satoko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

住環境 / 発達

◆主要業績 総数 (2)件

- ・松本聡子・菅原ますみ(2006)"子ども家庭総合評価票およびコンピュータ入力システムの開発に関わる全国調査の概要" 要保護児童のための児童自立支援計画ガイドラインの活用と評価に関する研究―要保護児童とその家庭の支援に向けた全年齢対応自立支援計画作成コンピュータ支援ツール「相談くん version 1.0」の開発と利用――厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業 平成 18 年総括・分担研究報告書(主任研究者 菅原ますみ), pp.109-116.
- ・松本聡子 (2006年12月):第7章 養育と子どもの発達に関する研究の新しい方向性. 菅原ますみ監訳 発達精神病理学 ミネルヴァ書房 (pp.237-301) (分担翻訳)

◆研究内容

2006年度の研究内容は、以下の3つである。

1) 養育環境に関する研究:

子どもをとりまく養育環境について、主に住環境と母親の子育てストレスについて研究を行っているが、 2006年度も継続して調査研究を行った。

2) 要保護児童のための児童自立支援計画ガイドラインに関する研究:

要保護児童のための児童自立支援計画ガイドラインの 活用に関して開発した子ども家庭総合評価票の精緻化 を継続して行った。

3) ヘルスコミュニケーションに関する研究: 就学児を対象としたヘルスコミュニケーションに関す る調査のための予備的研究として、文献調査などを行った。

◆教育内容

「文化と心理」

人間の行動や心理過程に文化がどのような影響を及ぼ しているかについて、心理学の基礎理論から研究事例 の紹介などを行った。

「臨床心理学演習(応用)」

臨床心理学の研究を行ううえで必要な多変量解析の手法について講義を行い、コンピュータを使用した実習も併せて行った。

♦Research Pursuits

The researches I conducted in 2006 were:

1. Child-rearing environment research:

The relationship between child-rearing environment and child development is one of my major research interest. In this longitudinal research I am examining the relationship between residential environment and mothers' parenting stress. In 2006, I continued this research project including data collection and analysis.

- 2. Research project on guideline for child-in-needs: An assessment system for child-in-needs was develoed based on the guideline. I participated the research project to refine the psychological scales included in this assessment system.
- 3. Health communication research:

In this project, I am planning to examine the effect of health communication on health behavior among elementary and junior high schoolers. In 2006, I did literature review as the preparation for the coming questionnaire survey.

◆Educational Pursuits

Culture and Psychology:

In this class, I taught cultural effects on human behavior and psychological processes. I introduced basic psychological theories and recent research results in related fields.

Clinical Psychology (Application):

There are various statistical methods for conducting psychological research. In this class, I introduced such methods, mainly multivariate methods. In addition to lecture, students experienced analysis using statistical software.

◆将来の研究計画・研究の展望

住環境が子どもの発達や養育者に及ぼす影響について行っている経年調査の分析を進めていきたいと考えている。

◆研究の実用化 (今後実用化したいテーマ)

養育態度・養育環境に関する尺度の開発を行いたいと考えている。